

下水管路のマネジメントと管診協の活動

一般社団法人管路診断コンサルタント協会 会長 山崎 義広



謹んで新年のごあいさつを申し上げます。旧年中は格別のご愛顧を賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。さて、私ども管診協の昨年の活動を振り返りますと、会場対面式とw e b併用型の講習会等を東京都、名古屋市、大阪府、千葉市で開催、「下水道管路施設改築・修繕に関する設計委託業務標準歩掛(案)一令和6年版一」の発刊・販売のほか、下水道展'24東京への出展など、下水管路の診断・改築修繕に資する事業を積極

的に実施してまいりました。一方で、国土交通省による上下水道行政の所管一体化を踏まえ、令和5年7月末、当協会内に水道委員会を設立し、初回活動案件として水管橋等の点検(調査・診断)に関する設計委託業務標準歩掛および仕様書の作成をスタートし、今年早々には公表する予定であります。また、協会のさらなる成長・発展を目指し「管診協中期ビジョン2030」を策定・公表しております。

衛生的でかつ快適な都市生活を提供するための重要

な水インフラである上下水道施設では、現在、老朽化ならびに耐震化への取組みが急速に行われております。上下水道管理者様におかれましては、管路施設の改築・修繕に係る調査・計画策定・設計の際には、私ども管診協会員をぜひご活用いただきますとともに、変わらぬご指導ご鞭撻のほど、この場をお借りしてお願い申し上げます。